

滋賀大学健康セミナー（第1回・第2回）を開催しました

滋賀大学保健管理センターでは、学生・教職員及び地域住民の皆さまを対象に健康的な生活を送るための正しい情報を提供する機会として滋賀大学健康セミナーを開催しています。

6月1日（木）、彦根キャンパス大合併講義室にて彦根市医療福祉推進課、

6月6日（火）、大津キャンパス第1講義室にて大津市長寿政策課、

それぞれにご協力いただき、こころと身体の科学スペシャル講義「認知症サポーター養成講座 ～認知症を学び地域で支えよう～」と題し、全国キャラバン・メイト協会講師による講演が行われ、彦根キャンパスでは166名、大津キャンパスでは19名の学生及び教職員の参加がありました。

講演では、認知症の中核症状といわれる5つの障害（記憶障害、見当識障害、理解・判断力の障害、実行機能障害、感情表現の変化など）について詳しい説明があった他、認知症の人と接する際の心構えなどについて実例を交えて分かりやすく説明がありました。

その後、認知症の母を介護する男性のドキュメンタリー映像（彦根キャンパス）・認知症の方への対応をわかりやすく解説したビデオ（大津キャンパス）の上映があり、認知症の症状やそれを支える家族の様子を実際に見ることで、認知症についての見識を深めると同時に、早期発見・早期治療の大切さや地域の支えがいかに重要かを認識することができました。

セミナー終了後には、認知症サポーターの証としてオレンジリングが参加者全員に授与されました。

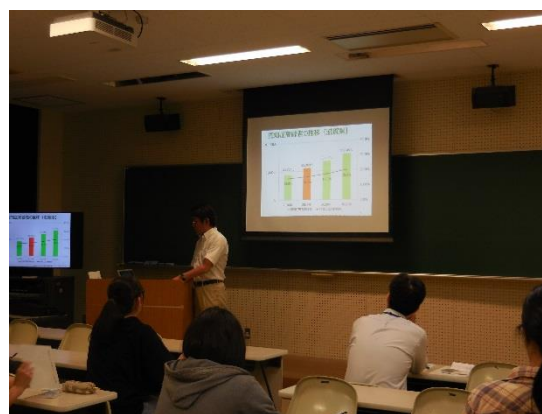
今回のセミナーから認知症への理解が深まり、支援の輪が広がることを期待します。



全国キャラバン・メイト連絡協議会講師による講演(彦根キャンパス)



講師の紹介をする山本所長(大津キャンパス)



全国キャラバン・メイト連絡協議会講師による講演(大津キャンパス)